

【OIE 情報】 韓国における高病原性鳥インフルエンザ（H5N6 亜型）の発生について

韓国における高病原性鳥インフルエンザ（H5N6亜型）の発生について、2016年11月23日付けでOIEへ緊急報告がありましたのでお知らせいたします。

なお、我が国は2010年10月18日以降、韓国における低病原性鳥インフルエンザ（H7N7）の発生を受け、同国からの家きん、家きん肉等の輸入を停止しています。

出典：OIEウェブサイト（2016年11月23日付け）

http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=21637

（OIE情報は更新・差替えが行われる場合がありますので、出典元も併せて御確認下さい。）

【概要】

- ・発生数：2件（緊急報告）
- ・発生日：2016年11月16日
- ・OIEへの報告日：2016年11月23日
- ・血清型：H5N6（高病原性）

【発生状況】

- ・11月16日：忠清北道 陰城郡の農場

【動物種】	【飼育羽数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
あひる	10,000	250	250	9,750	0

- ・11月16日：全羅南道 海南郡の農場

【動物種】	【飼育羽数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
採卵鶏	40,000	520	520	39,480	0

【疫学情報】

- ・感染源：不明又は調査中
野生種との接触

【対応】

- ・国内における移動制限
- ・スクリーニング
- ・施設等の消毒実施
- ・トレーサビリティ
- ・隔離
- ・封じ込め及び/または保護区域の内側/外側におけるサーベイランス
- ・淘汰
- ・動物製品の公的廃棄
- ・死体、副産物及び廃棄物の公的処分

- ・野生宿主のコントロール
- ・ゾーニング
- ・ワクチン接種禁止
- ・患畜を治療対象としない

【診断】

- ・診断施設：農林畜産検疫本部（国立研究所）
- ・診断方法：RT-PCR：陽性（2016年11月17日）

【参考】

韓国における高病原性鳥インフルエンザの発生情報等は、当省ウェブサイトで公表しています。

- ・韓国における高病原性鳥インフルエンザ（H5N6亜型）の発生について
(<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/index.html>)
- ・過去の韓国当局のプレスリリース等（高病原性鳥インフルエンザ関連）
(http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/korea_HPAI_H5N8.html)